



学校だより

令和5年6月号
発行 和田小学校
TEL 72-0138

志(目的意識)高く、役割を自覚

欧州に「石を運ぶ人」という小話があります。それは、旅人がある村を訪れたとき、村人たちが石を運んでいた。最初に出会った人に「何をしていますか?」と訊ねたら、「見ればわかるだろう!石を運んでるんだ。邪魔だ、どけ!」と怒鳴られた。2番目の人に聞くと「石を運んで教会をつくるんです」と。3番目の人に聞くと「ここに教会を建てて、村人の憩いの場をつくるんだよ」と。

つまり、自分の仕事を作業レベルで「時間がかかる」「面倒くさい」と捉える人と、「自分たちしかできない」「村人のため」「歴史に残る仕事」と志を高くもち意義まで理解している人とは、心のモチようが変わってくるという。人は目標自体に魅力や価値を感じれば、それを「やりたい!」と思うものであり、やり遂げようとするエネルギーも湧いてくると。



大会テーマ 「新時代だ!」

～かがやけ和田っ子140 和田っ子しか勝たん～

全校生と「新時代」を拓いた6年生

先日の体育大会では、6年生が中心となり最後の大会を有意義なものとするため、大会テーマの発案、開閉会式の準備、ダンスの企画や下級生への練習指導など、全校生をまとめ団結しようと何度も試行錯誤し

ながら臨みました。「学校のリーダーとして」、「自分たちが納得できる大会に」、「下級生や学校のため」、「新たな伝統を刻む」といった各々の強い志や決意のもと、意義深い大会に導いてくれました。

大会を終え、ある6年生は「今までの私なら自分たちの企画を提案し、校長先生にお願いしに行くことはなかった。こんなに本気になったのは初めてだった。やり抜くことができ自分でも成長できたと思う。団結することがこんなにも楽しいことだと実感できた。」と綴っています。どの感想からも6年生全員が同じような気持ちだったこと、そして一人ひとりの成長が伺えました。きっと、最高学年にしか見ることができない頂の景色が見えたことでしょう。

次は、どんな景色を見せてくれるのか楽しみです。



子どもまん中の行事や活動に

一般社会において、なんとなく「例年通りに行事を」ということがないでしょうか。「何のために行うのか」「この行事ならではの意義は一体何なのか」を立ち止まって考え話し合うことも重要だと思います。

学校では、「当たり前」のように実施してきた行事に対して「素晴らしい作品になったか」「いい発表ができたか」といった「でき栄え」や「成功モデル」にこだわる

余り、子どもたちの自主性を抑制してこなかったか、かえって教師の押し付けや負担感につながっていなかったか等、コロナ禍を契機に振り返り点検を行っています。

行事のねらいを明確にした上で、どのように取り組むのかという「努力の過程」や「成長モデル」を大切に、子どもが本来もっている力を最大限に発揮できるよう学習活動を展開していきたいと思ひます。

下記のQRコードから学校の様子をご覧いただけます。ぜひご覧ください。



ホームページ



学校ブログ

7月の主な行事予定

- 4日(火) 自転車教室(雨天時5日)
研究会のため14:25 集団下校
- 5日(水) ノーメディア週間(～11日)
- 6日(木) 授業参観(2限・ICT活用)
- 10日(月) 色別活動(色別遊び)
- 12日(水) 校内漢字テスト
- 13日(木) 第1回人権集会
- 17日(月) 海の日
- 25日(火) 保護者会 10:15 集団下校
- 27日(木) 終業式 11:40 集団下校
- 28日(金) 本日より夏季休業

体育大会に向けた準備、当日のご声援やご参加ありがとうございました。

